

カブトガニ、波、本表現

笠岡市立図書館 シンボルマーク決定

県立大教授考案

笠岡市立図書館(六番町)は、同図書館のシンボルマークを新たに決めた。カブトガニや海といった笠岡と、図書館のイメージを織り交せたデザインで、県立大(総社市)の野

宮謙吾教授が手掛けた。マークの上の部分は横から見たカブトガニを表現。一般と子ども

二つのスペースを持つ同図書館の特徴も織り込んだ。下は、波と開

新しく考案された笠岡市立図書館のシンボルマーク



笠岡市立図書館

いた本をイメージ。色は紙とインクを表すため、モノクロにした。笠岡市と同大は2014年、地域の課題解決について連携協定を締結。20年には同大の学生が、本棚に本の分野を示す「ビクトグラム」をデザインした。マークは今後、図書館の封筒や広報誌などに使うという。野宮教授は「さまざまなシーンで活用してもらい、笠岡市立図書館を象徴するイメージとして定着したらうれしい」と話している。(谷本こころ)